

フラッシュ書き込みソフトウェアツール Renesas Flash Programmer ご使用上のお願い

フラッシュ書き込みソフトウェアツール Renesas Flash Programmerの使用上の 注意事項を連絡します。

- RX100シリーズまたはRX200シリーズマイコンをFINE (注) 接続で通信中、通信異常が発生する場合の注意
- 注: 「FINE」とは、マイコンのFINE端子を使用した1線式または2線式の通信インターフェースです。「使用するマイクロコントローラ」として「RX200(FINE)」または「RX100(FINE)」を、「使用ツール」として「E1/E20」を選択します。

Renesas Flash Programmerでは、2線式通信に対応していません。

1. 該当バージョン

Renesas Flash Programmer

V2.01.00、V2.01.01、V2.03.00、V2.04.00 および V2.04.01

2. 対象マイコン

RXファミリ RX100シリーズ および RX200シリーズ

3. 内容

Renesas Flash Programmerを使用して、E1またはE20エミュレータと対象マイコンをFINE接続で通信している際、マイコンからの受信データを取りこぼす場合がまれにあります。

データの取りこぼしが発生した場合、通信異常を示すエラーが

Renesas Flash Programmerのメインウィンドウ内に表示されます。

なお、エラーが発生せず、コマンドが正常に終了した場合や新規ワークスペースが正常に作成された場合は、その動作は正しく実行されていますので問題ありません。

4. 回避策

下記のいずれかの方法で回避してください。

- (1) FINE接続中に通信異常を示すエラーが発生した場合、該当する動作を再度実行してください。
- (2) 2 wire UART接続を使用してください。

5. 恒久対策

V2.05.00 (2014年11月上旬リリース予定) で改修予定です。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。